

令和4年度
事業報告書



社会福祉法人富士市社会福祉協議会

目次

1. 概要.....	1
2. 会議開催状況.....	3
3. 事業実施状況.....	7
【広報啓発事業】	7
【地域福祉推進事業】	9
【生活支援体制整備事業】	12
【ボランティア活動育成事業】	13
【福祉相談事業】	19
【援護事業】	20
【共同募金運動】	22
【ユニバーサル就労支援センター相談支援グループ運営事業】	23
【貸付事業】	23
【日常生活自立支援事業】	24
【成年後見支援センター事業】	24
【法人後見事業】	26
【介護サービス事業】	26
【障害サービス事業】	28
【社会福祉センターの運営】	30
【生きがいデイ・健康づくりデイサービス事業】	30
【その他の事業】	31
【社協会費・寄附金の募集】	32

1. 概要

令和4年度は、幾度かの新型コロナウイルス感染拡大の波を乗り越え、感染防止策の徹底を図りながらウィズコロナの視点で各種事業に取り組み、多くの事業が計画どおり遂行することができました。

令和2年3月から受け付けていた生活福祉資金の特例貸付は昨年9月末をもって貸付終了となり、申請件数・申請金額の総額は緊急小口資金が2,083件、376,850,000円、総合支援資金が1,314件、544,951,000円という結果となりました。

また、8月に発生した台風8号及び9月に発生した台風15号で被災した被災地社協に対し、延べ23名の職員を派遣して現地災害ボランティアセンターの支援を行うとともに被災地支援に赴くボランティア向けに事前研修を行い、災害ボランティアとしての心構えを広める活動にも取り組みました。

以下、令和4年度事業計画における重点目標を中心に事業執行状況を報告いたします。

<令和4年度の重点目標>

1. 第5次地域福祉活動計画に基づいた事業の実施
2. 生活支援体制整備事業の推進
3. 成年後見支援センターの機能強化と市民後見人養成研修の実施
4. ユニバーサル就労支援事業の推進
5. 障害サービス事業所の計画的な施設整備

1. 第5次地域福祉活動計画に基づいた事業の実施

地域福祉の将来像を「だれもが安心してともに暮らせる地域（まち）」とした市の地域福祉計画と基本理念や基本目標を共有しながら重点事業を抽出して策定した「第5次地域福祉活動計画」は、令和4年度が計画初年度でありました。各事業の進捗の度合いは一樣ではありませんが、災害時の各団体との支援協定締結など具体的に形となった事業もありました。今後も本会における地域共生社会の道標として、本計画の進捗の検証を適宜行いながら的確な事業執行を行ってまいります。

2. 生活支援体制整備事業の推進

令和3年度に着手した新たな取り組み手法の1つである『地域のお宝（ご近所同士の何気ない支えあい活動）さがし』は今泉地区をモデルとして取り組みを進め、コロナ禍の影響を受けつつも当初予定していた“お宝さがし講座”“地域歩き（お宝取材）”“お宝発表会”を実施することができました。また、富士見台地区で取り組まれている『富士見台くらし支えあいセンター』を参考として、複数の地区において支えあいの仕組みづくりに関する具体的な検討や担い手の養成が進み、地域共生社会の実現に向けた支えあい・助けあいの地域づくりが具体化されました。

3. 成年後見支援センターの機能強化と市民後見人養成研修の実施

超高齢社会になり、判断力の衰えにより地域生活が困難になる高齢者が増加しているなか、本制度の普及及び制度利用の申立支援とその方にふさわしい後見人等が家庭裁判所において選任されるよう、申立前に専門職による検討会議を行い、今後想定されるライフイベントや生活課題等を確認して、その方に最もふさわしい専門職後見人を推薦する「受任調整会議」を原則毎月開催しました。今年度は28件の申立に対する専門職団体の推薦を行うことができました。家庭裁判所や関係機関との連携も進み、制度普及における権利擁護のネットワーク化が前進しました。

また、市民後見人による個人受任は14名となり、市民後見人らしさを活かした活動で要支援者の地域生活を見守っています。

4. ユニバーサル就労支援事業の相談体制の強化

生活と仕事の相談をワンストップで受け、生活改善を図るために相談者に寄り添いながら相談支援を行うユニバーサル就労支援センター相談支援グループについては、職員8名体制を維持し相談にあたりました。今年度は1,203件の新規相談があり、国の求める新規相談件数の目安810件を大きく上回る多くの相談が寄せられました。

また、今年度から新たに「ひきこもり相談」を実施し、ひきこもりの方の居場所としてフィランセ内に「こもればラウンジ」を設置しました。いわゆる8050問題についても地域包括支援センターと連携し広報啓発に努め、相談体制の強化を図りました。

さらに、令和5年度に向けては、引き続き株式会社東海道シグマと共同事業体として令和5年2月のプロポーザルに臨み、令和8年度までの4年間の受託契約が決定しました。

5. 障害サービス事業所の計画的な施設整備への着手

鷹身工芸社に関しては、6月に県への補助金申請を行いましたが、採択される可能性が非常に低かったことから、申請を取り下げ、自己資金による建設に方針を切り換えました。令和5年度の早い段階で土地を取得し、建設に着手、令和6年度の移転を目指します。

ふじひろみに関しては、市の協力もあり、旧大淵幼稚園の園舎を借り受けることができました。トイレその他のリフォームを済ませ、1月より運営を行っています。

その他、重点目標以外については、昨年度策定した「富士市社会福祉協議会職員育成計画」に基づき、社協職員育成計画運営委員会を設置するとともに、OJTリーダー制度を導入し、経験年数の浅い職員の早期戦力化と中堅職員の育成力の向上を図りました。

さらに、介護、障害サービス室職員の確保や定着のため、国の処遇改善補助金等の介護職、障害支援職への財政的支援も活用し、給与月額や役職手当の引き上げ、処遇改善加算制度に基づく手当の新設等を行いました。

以上、令和4年度は長引く新型コロナウイルス感染症の影響下ではありましたが、新しい生活様式に合わせた試みを取り入れ、事業執行した一年となりました。

2. 会議開催状況

1. 理事会

	場 所	会 議 事 項
第 1 回 R4. 6. 10	フィナンセ東館 ボランティアルーム	報第 1 号 理事会の報告事項及び審議事項に係る書面議決の結果について 報第 2 号 会長及び常務理事職務執行状況報告 議第 1 号 令和 3 年度事業報告について 議第 2 号 令和 3 年度決算について (監事監査報告について) 議第 3 号 令和 4 年度補正予算について (第 1 号) 議第 4 号 役員選任候補者の推薦について 議第 5 号 定時評議員会の招集について ○本会のコミュニティソーシャルワークの取組について ○社会福祉協議会会費依頼について
第 2 回 R4. 8. 26	フィナンセ東館 ボランティアルーム	議第 6 号 令和 4 年度富士市社会福祉協議会会長表彰及び感謝状贈呈候補者について 議第 7 号 評議員選任候補者の推薦について 議第 8 号 評議員選任委員会の招集について ○令和 5 年度採用 正規職員の募集について ○社会福祉協議会会費収納状況について (中間報告)
第 3 回 R4. 11. 25	フィナンセ東館 ボランティアルーム	議第 9 号 令和 4 年度補正予算について (第 2 号) 議第 10 号 役員選任候補者の推薦について 議第 11 号 評議員会の招集について ○令和 4 年度歳末たすけあい運動について ○新型コロナウイルス特例貸付の終了と償還事務について ○令和 5 年度採用正規職員の採用試験結果について ○社会福祉協議会会費収納状況について ○赤い羽根共同募金収納状況について (中間報告) ○被災地支援に伴う職員派遣について ○「はっぴいずむ富士 (旧 市民福祉まつり)」について

第4回 R5. 1. 26	広見荘 クラブ室	報第3号 会長及び常務理事職務執行状況報告 報第4号 専決処分の承認を求めることについて (社会福祉法人富士市社会福祉協議会給与規程等の一部を 改正する規程の制定) 議第12号 評議員選任候補者の推薦について 議第13号 評議員選任委員会の招集について ○歳末たすけあい運動募金収納状況及び配分結果について
第5回 R5. 3. 20	フィナンテ東館 ボランティアルーム	報第5号 本会に対する所轄庁からの指導監査(一般監査)の 実施結果報告について 議第14号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会職員給与規程 の一部改正について 議第15号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会介護サービス 室及び障害者就労支援施設職員給与規程の一部改正につい て 議第16号 令和4年度補正予算について(第3号) 議第17号 令和5年度事業計画について 議第18号 令和5年度予算について 議第19号 令和5年度役員賠償責任保険契約の締結について 議第20号 評議員会の招集について

2. 評議員会

	場 所	会 議 事 項
定時 (第1回) R4. 6. 27	市交流プラザ 会議室1	議第1号 令和3年度事業報告について 議第2号 令和3年度決算について (監事監査報告について) 議第3号 令和4年度補正予算について(第1号) 議第4号 役員の選任について ○本会のコミュニティソーシャルワークの取組について ○社会福祉協議会会費依頼について

第2回 R4. 12. 15	市文化会館 (ペシター) 第1会議室	議第5号 令和4年度補正予算について(第2号) 議第6号 役員の選任について ○新型コロナウイルス特例貸付の終了と償還事務について ○令和5年度採用正規職員の採用試験結果について ○社会福祉協議会会費収納状況について ○赤い羽根共同募金収納状況について(中間報告) ○令和4年度歳末たすけあい運動について ○被災地支援に伴う職員派遣について ○「はっぴいずむ富士(旧 市民福祉まつり)」について ○ふじひろみの一時移転について
第3回 R5. 3. 29	市交流プラザ 会議室1	議第7号 令和4年度補正予算について(第3号) 議第8号 令和5年度事業計画について 議第9号 令和5年度予算について

3. 評議員選任委員会

	場 所	会 議 事 項
R4. 9. 14	フィナンセ東館 社協相談室	議第1号 評議員の選任について
R5. 2. 15	フィナンセ東館 社協相談室	議第2号 評議員の選任について

4. 監 査

	場 所	会 議 事 項
R4. 5. 27	フィナンセ東館 育児研修室	○令和3年度決算会計及び業務監査

5. 共同募金委員会

	場 所	会 議 事 項
R4. 8. 26	フィナンセ東館 ボランティアルーム	○令和4年度赤い羽根募金実施計画について ○令和4年度歳末たすけあい運動実施計画について ○街頭募金について

6. 苦情解決第三者委員会

	場 所	会 議 事 項
R4. 9. 14	(書面開催)	○本年度苦情解決体制について ○令和3年度の苦情概要報告

7. 正副会長会

	場 所	会 議 事 項
第1回 R4. 6. 6	フィナンセ東館 ボランティアルーム	○第1回理事会について ○6月以降の会議日程について
第2回 R4. 8. 23	フィナンセ東館 ボランティアルーム	○第2回理事会及び共同募金委員会について ○8月以降の会議日程について
第3回 R4. 11. 22	フィナンセ東館 ボランティアルーム	○第3回理事会について ○11月以降の会議等日程について
第4回 R5. 1. 23	フィナンセ東館 ボランティアルーム	○第4回理事会について ○2月以降の会議等日程について
第5回 R5. 3. 16	フィナンセ東館 育児研修室	○第5回理事会について ○4月以降の会議等日程について

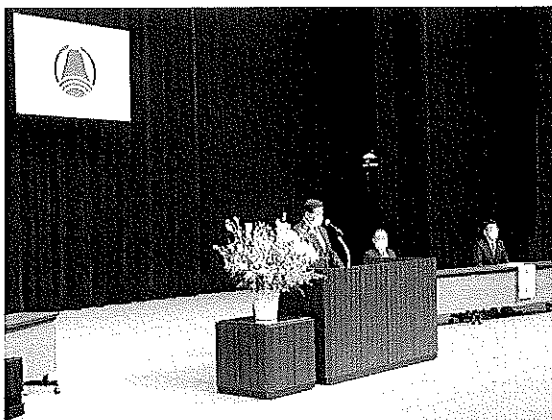
3. 事業実施状況

【広報啓発事業】

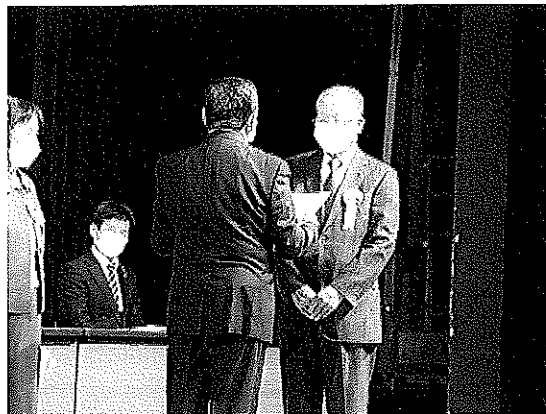
(1) 富士市社会福祉大会

社会福祉功労者に対し、表彰状及び感謝状の授与式をロゼシアターで開催した。

- ・開催日 11月10日(木)
- ・開催場所 ロゼシアター 中ホール
- ・内 容 表彰式 被表彰者等 143人



式典



表彰式

(2) 社協の広報活動

市民に広く社協への理解をいただくため、また、事業等で社協を活用していただくため、全戸に広報紙「お元気ですか」を配布すると共に、ウェブサイトの充実を図り、さらに市内のコミュニティーエフエム（ラジオエフ）の放送に社協役職員やボランティアが出演、また、社協への寄附や事業実施時等に報道メディアへの情報提供を積極的に実施するなど、様々な広報啓発活動を行った。

①広報紙『お元気ですか』の発行

会員である市民に対し、読みやすく分かりやすい福祉情報を発信すると共に、社協への理解を高めるために年3回発行した。併せて間違いさがしのコーナーへの応募時に福祉に関するアンケートに答えていただき、市民の福祉に関する実情や動向の把握に努めた。

- ・5/20号 第5次地域福祉活動計画 他
『あれっ？どこかがちがうぞ！？』 応募数 415通
- ・9/20号 地域のパワースポット～やさしさと笑顔がめぐる場所～ 他
『あれっ？どこかがちがうぞ！？』 応募数 329通
- ・新年号 ひとりで悩まずご相談ください
～富士市ユニバーサル就労支援センター～ 他
『あれっ？どこかがちがうぞ！？』 応募数 655通

広告協賛企業（敬称略）

ロゼ にじいろクリニック（医療法人財団新六会）	3回
小松クリニック（医療法人社団青葉会）	3回
アイアール社会保険労務士法人	3回
佐藤畳店	1回
旅ステーションはんだ	1回

②ラジオエフの活用

月1回（最終水曜日）放送の「はあとふるトーク」に役職員、地域住民、ボランティア等が年間12回出演し、社協事業のPRに努めた。また、災害時の連携を視野に入れた防災パートナーズポットCMを毎月1回実施。その他、随時社協事業の広報媒体として協力を求め活用をした。

③ウェブサイトの充実

ICT（情報通信技術）時代に応じた見やすいサイトを追求するとともに、わかりやすい福祉情報の発信に努めた。また、速報性の高い情報に関しては随時更新を行った。

④報道メディアへの情報提供を通じた事業等の周知

報道メディアに社協や福祉推進会等の事業及び社協への寄附等の情報を積極的に提供し、紙面や報道を通じて事業等の周知を行った。

（3）富士市障がい者支援ポータルサイト『はっぴいずむ富士』の開設

ノーマライゼーションの理念に基づき、すべての人が交流やふれあいを通じて「福祉の理解」を深めることを目的とした「市民福祉まつり」の理念を踏襲し福祉情報をSNSで「つなげる」新たなポータルサイト『はっぴいずむ富士』を開設した。また、開設に向けて関係機関・団体等で組織する実行委員会を開催しポータルサイト啓発イベントも同時に協議し、実施した。

①はっぴいずむ富士実行委員会の開催

開催：5回（7／13、9／16、11／16、12／16、2／27）

内容：ポータルサイト開設及び啓発イベントの開催について

②はっぴいずむ富士啓発イベントの実施

日時：11月26日（土）10：00～16：00

会場：「法蔵寺」

内容：体験型ワークショップ、キッチンカー等物品販売、ポータルサイト啓発等

【地域福祉推進事業】

(1) 地区福祉推進会

①地区福祉推進会の活動支援

「だれもが住みなれた地域で、いつまでも安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を目指し、市内26地区に地区担当職員（コミュニティソーシャルワーカー）を配置し、その地区に必要な資源開発・育成を行い、支え合い助け合いのまちづくりを地域住民の皆さんと共に実施した。また、各地区の実情に合わせ地区内の関係団体等と連携・協働し事業活動を実施した。

②地区福祉推進会連絡会の活動支援

各地区福祉推進会の事業活性化のため、各地区で実施されている活動について情報収集と各地区への発信を行った。また、コロナ禍の状況下でも工夫しながら開催しているサロン等の情報提供をし、各地域でのつながりづくりを推進した。

<正副会長会議>

- 5月24日（火） 地区福祉推進会連絡会の開催について
コミュニティソーシャルワークの実践について
- 11月 8日（火） 地区福祉推進会助成金について
生活支援体制整備事業の取り組みについて
- 2月21日（火） 生活支援体制整備事業第1層協議体について
令和5年度富士市地区福祉推進会連絡会について

<全体事業>

- 6月17日（金） 富士市地区福祉推進会連絡会
事業報告及び事業計画
コミュニティソーシャルワークの実践について
社協助成金について

③見守り・生活支援活動の実施（小地域福祉ネットワーク事業）

各地区及び各地域の中で、要援護者に対し見守り活動を展開し、安否を確認した。

- <富士南地区> 小中学生を見守る毎日の防犯パトロールを実施
- <吉永地区> 近隣の方（ひとこえ会）が日常的な安否確認を実施
- <富士駅南地区> 住民福祉ネットワークで高齢者宅を誕生月等に訪問
「地域支え合いマップ」の作成
- <富士駅北地区> 近隣の方（見守り協力者）が日常的な安否確認を実施
- <富士北地区> 近隣の方（こえかけボランティア）が日常的なこえかけを実施
- <大淵地区> 回覧版を手渡しで行い、安否確認を実施
生活上の困りごと対応
- <原田地区> 地区民生委員と推進会委員で見守りが必要な世帯に訪問
その後は、推進会委員による見守りを実施

(2) ふれあい・いきいきサロンの推進

ふれあい・いきいきサロンは、日常生活の基盤である地域社会において、高齢者や障がい者の孤独感等の解消並びに介護予防を目的とした組織。ふれあい・いきいきサロンを地域住民が自主的・自発的に取り組み、地域にとけ込んだふれあいと見守りの場となりえるよう支援した。コロナ禍でも工夫して取り組めるように、集合に限定せず、訪問、手紙、電話なども取り入れながら、繋がりを保てるように、サロンの幅を広げた。

- ・対 象 地域との交流を求める高齢者・障がい者等
- ・利用料 無料
- ・開設数 142カ所 (3月31日現在、休止中を除く)
- ・プチサロン交流会 2月実施

サロン活動の充実を目的として、サロンにおいて多く取り組まれている「脳トレ」「健康」「簡単な体操」の情報交換会を予約制にて実施。テーマごと3回に分けて開催した。

(3) こども食堂への補助

子どもたちが放課後等に食事や学習、地域交流を通じて安心して過ごせる居場所であるこども食堂への支援を実施した。3件の助成金の申請があり助成を実施した。こども食堂への関わりを通じて子どもを孤立させない地域づくりを支援した。

(4) 未就園児等安否確認支援事業

こども家庭課が行う未就園児等の家庭（富士市に在住する未就園児等のいる世帯で、こども家庭課が訪問する必要があると判断した世帯）訪問の際に、障害者就労支援事業所の製品を提供することで、児童の安否確認及び生活課題の早期発見が円滑に行えるよう支援することを目的に実施。

- ・令和4年5月～令和4年12月 ラスク160個、クッキー160個を提供

(5) さわやかコール事業

ひとり暮らし高齢者の安否確認を目的に、民生委員児童委員を通じて申し込みをおこない、配達員がひと声かけながら乳酸菌飲料（ヤクルト）を宅配するサービスを実施。声かけ時に応答がないなど安否が確認できなかった際には、担当の民生委員児童委員や緊急連絡先等に確認をしたほか、必要に応じて職員が訪問し安否確認を行った。

- ・委託先 中央静岡ヤクルト販売㈱
- ・訪問日 週3回が基本

(6) 地域活動団体への助成

・地域福祉活動費（町内会）助成	2, 6 5 2, 7 0 0 円
・民生委員児童委員活動実費弁償費助成	4 3 4, 0 0 0 円
・民生委員児童委員協議会活動費助成	3 0 0, 0 0 0 円
・女性ネットワーク富士活動費助成	1 0 0, 0 0 0 円
・人権擁護委員会助成	7 0, 0 0 0 円

(7) コミュニティソーシャルワークの実践

日常のあらゆる困りごとや相談に応じ、個別支援と地域支援を統合的に展開するコミュニティソーシャルワークの具体的な実践のため、地区担当者を支援し共に活動に取り組む圏域担当を配置。地区担当者と情報共有を図りながら相談対応や支援に取り組んだ。また支援にあたっては、市内の各機関や専門職と連携し、チームアプローチでの支援を実践した。

・相談対応件数 1 2 5 件

相談内容の内訳（複数回答）

相談内容	件数	相談内容	件数
高齢者（見守り）	8 2	地域づくり	7
孤立	6 7	子ども	6
高齢者（介護）	3 6	財産管理	4
メンタル	2 5	障がい	4
困窮	1 7	地域トラブル	2
高齢者（認知）	1 4	判断能力	1
家族関係	1 3	その他	8
ボランティア	1 2		

(8) 生活困窮世帯学習支援応援事業

生活支援課が実施する「富士市こどもの学習・生活支援事業」で行う企画イベントを通じて参加者に食品や物品を支給することにより、こどもの学習意欲の向上を図ることを目的に実施。

・第1回（夏期講習） 8月23日（火）

ネームホルダー、コロコロラスクを提供

・第2回（冬期講習） 12月27日（火）

バスボムと板ラスク、菓子の詰め合わせを提供

・第3回（面接練習） 1月17日（火）

金のわらじストラップ、だるまのマグネット、菓子の詰め合わせを提供

【生活支援体制整備事業】

（１）第１層生活支援コーディネーター業務の推進

生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的に、富士市より※第１層コーディネーター業務を受託し、市全域で支え合い・助け合い活動が広がるよう基盤整備と関係機関ネットワークの構築などを行った。また、モデル地区（今泉）において地域のお宝（日常的なつながりや支えあい）さがしを実施し、その成果を市民と共有する場として生活支援体制整備事業講演会（お宝発表会）を開催した。

・第１層協議体会議

２月１４日（火） 第２層協議体の活動状況について

今泉地区におけるお宝さがしの取組報告

・生活支援コーディネーター連絡会

６月２３日（木） 「お宝さがし」のモデル地区実施について

各地区の進捗状況について

１月２５日（水） 「お宝さがし」のモデル地区実施について

令和４年度第２層協議体の進捗状況について

※第１層生活支援コーディネーターとは、富士市域全域の福祉活動団体を組織化し、支援を必要としている人への働きかけや、助け合い組織立ち上げ支援、行政への働きかけ、施策提言をする者

（２）地域包括ケア体制の構築に向けた地域支援

生活支援・介護予防に関する地域支援や地域住民主体の支え合い・助け合いがあふれるまちづくりのため、※第２層生活支援コーディネーターと協働し各地区担当職員も地域資源の育成・活動支援を行った。

・各地区地域ケア会議、個別ケア会議への参加

※第２層生活支援コーディネーターとは、小学校区を単位として、生活支援のニーズ把握や社会資源の把握、サービスの開発を地域住民と共に取り組む者

（３）支えあいのまちづくり活動補助金の実施

地域住民による生活支援活動を支援し、地域共生社会を実現させるための取り組みとして、支えあいのまちづくり活動補助金を創設し、地域住民による生活支援活動の立ち上げに対する支援を実施した。

・支えあいのまちづくり活動補助金 １件

富士見台くらし支えあいセンター（富士見台地区） ２１７，０００円

【ボランティア活動育成事業】

（１）ボランティアセンター運営事業

ボランティアセンター利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
開館日	28	27	29	29	31	30	29	27	27	26	27	29	339	334
利用者数	420	482	483	340	371	369	404	478	375	292	370	454	4,838	3,770
1日平均	15.0	17.9	16.7	11.7	12.0	12.3	13.9	17.7	13.9	11.2	13.7	15.7	14.3	11.3

① ボランティアのニーズ調整

- ・ボランティア対応 延べ 84人
- ・個人登録者に対する情報発信 延べ 1,327人

② ボランティア保険

- ・加入者数 2,856人
- ・事故対応 8件

③ 富士市ボランティア連絡会

連絡会は、加入しているボランティアグループで組織し、情報交換をはじめ、ボランティアに関する意見交換を実施した。

- ・奇数月第1金曜日 定例会開催
- ・偶数月最終金曜日 役員会開催

④ ボランティア団体への助成

- ・ボランティア連絡会助成 300,000円
- ・災害ボランティア連絡会助成 200,000円

（２）車いす移送車両運行事業

① 移動支援

車いす使用者の通院・リハビリ、公的機関の手続き等にリフト付ワゴン車で送迎を行うサービスを実施した。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、8/1～11/13の間活動を休止した。

- ・利用件数 79件
- ・走行距離 9,126km
- ・利用登録者数 23人
- ・移送ボランティア登録者数 41人
- ・延べ活動者数 184人

②車いす移送車両貸出

車いす使用者に対して、移送車両を貸出し、社会参加の促進を図った。

・貸出件数 147件

(3) 企業の地域貢献・社会貢献活動への協力

富士市内外の事業所による地域貢献・社会貢献活動の推進に対して連携及び協力を図るため、活動に係る連絡や調整を行った。

・対象企業及び事業所 13社

(4) ふじおもちゃ図書館の運営

ハンディキャップのあるなしにかかわらず、おもちゃを通しての交流の場として開館している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和4年4月1日～4月17日、7月24日～11月14日までを休館とした。

・開館日 火・木曜日 10:00～11:30

日曜日（障がい児のみ） 10:00～11:30

・定員 親子合わせて10名まで。事前予約制。

・協力団体 ふじおもちゃ図書館ボランティア 35人

・会場 ふじおもちゃ図書館（富士市フィランセ東館4階）

利用状況

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年同期
利用者数	70	77	107	91	0	0	3	62	90	125	117	112	854	484

※休館中の10月の3名についてはおもちゃ図書館ボランティアによる作業日

＜貸館＞本来はふじおもちゃ図書館閉館時に、障がい児（者）及び子育てグループ等の団体に託児や交流のスペースとして貸館を行っているが、令和4年度については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、休館とした。

(5) 富士市災害ボランティア連絡会

災害時におけるボランティア活動がスムーズに行えることを目的に、災害ボランティア連絡会を組織し、定例会での情報交換をはじめ研修や災害ボランティア講習会を実施した。

・加入団体 12団体

富士市災害救援バイク隊『ペガサス』

富士市アマチュア無線非常通信協力会

災害ボランティアコーディネーター富士

静岡県市町村職員年金者連盟富士市支部

富士市ボランティア連絡会

静岡県看護協会富士地区支部

富士R B

富士市まとい会

家具やしめ隊

富士市赤十字奉仕団

ハルジオン

災害ボランティアコーディネーター富士川

・災害ボランティアセンター開設訓練（研修）

1月14日 午前の部 社協職員対象 午後の部 災害ボランティア対象

（6）災害ボランティアセンター支援に関する連携協定書の締結

自然災害発生時に災害ボランティアセンターを設置・運営する際に、人的・物的な支援を要請するための事前の取り決めに定めた連携協定書を締結した。

・（一社）富士青年会議所

締結日 6月16日

・太陽建機レンタル(株)

締結日 11月12日

（7）災害ボランティア活動用資機材の整備

災害時の迅速なボランティア活動を支援するため、活動資機材に関する覚書を締結するとともに、資機材及び保管倉庫を市内の社会福祉法人敷地に設置した。

・（福）誠信会、市災害ボランティア連絡会、本会の3者で災害ボランティア活動用資機材と保管倉庫を（福）誠信会敷地に設置するための覚書を締結し設置

締結日 7月25日

・（福）芙蓉会、市町内会連合会、市災害ボランティア連絡会、県ボランティア協会、県社会福祉協議会、本会の5者で災害ボランティア活動用資機材と保管倉庫を（福）芙蓉会敷地に設置するための覚書を締結し設置

締結日 8月31日

（8）家具固定ボランティア講座

団塊の世代を含め、企業、勤労者及び退職者等を対象に、特に、男性ボランティアが活動できる環境を創出するため、家具固定の方法を学び、ひとり暮らし高齢者や女性のみで構成された世帯等の支援を行うボランティアを養成する講座を開催している。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

(9) 音訳ボランティア養成講座

視覚障がい者の情報手段の拡充や自立と社会参加の支援をするための音訳に携わるボランティアを養成するための講座を開催した。

- ・開催日 1月11日(水)、18日(水)、25日(水)、
1月26日～2月7日の中で1日、
2月8日(水)、15日(水)、22日(水)、3月1日(全8回)
9:00～12:00(実習日を除く)
- ・内 容 音訳基礎技術を身に着けるための実技
- ・参加者 6名(6名修了)

(10) 声の広報事業

ボランティアグループの協力により、月2回発行される「広報ふじ」やその他「警察だより」「中央病院、蒲原病院だより」「消防署だより」「市議会だより」「お元気ですか」「暮らしの情報」等をCDに吹き込み作成し視覚障がい者に郵送により情報提供した。

- ・利用者 21人
- ・協力団体 5団体(やまびこ5月号・20月号、すみれ、C3P0、秋桜)

(11) 音訳ボランティア懇談会

音訳ボランティアグループ間の情報交換と交流を目的に開催した。

- ・開催日 11月15日(火) 10:00～11:30
- ・内 容 令和4年度音訳ボランティア養成講座開講についてご協力のお願い
コロナ対策下の活動について
次年度より広報ふじが月1回の発行になるにあたり、その意見交換
- ・参加者 12名(やまびこ5月号、やまびこ20月号、C3P0、秋桜、すみれ、ボランティア連絡会会長)

(12) ボランティア活性化講座「ファシリテーション講座」

本講座では、ファシリテーションの基本を学ぶことを通じて、参加者が主体的に多くのアイデアや前向きな意見を伝えあい、地域福祉活動や市民活動、ボランティア活動での話し合いに生かすことを目的に開催した。

- 日 時 令和4年12月17日(土) 10:00～16:00
- 会 場 エネリアショールーム富士(富士市津田260-12)
- 内 容 ファシリテーション講座
「会議(話し合い)が変わる『対話の場』づくり」
- 講 師 日本ファシリテーション協会 鈴木まり子さん

(13) 福祉教育の推進

①福祉人材育成事業

これからの福祉事業に携わる人材の定着及び確保を目指し、広く福祉に関する啓発を行うための福祉人材育成事業に取り組んだ。

<実行委員会>

- ・内 容 本会と市内の各関係機関との連携及び協働による事業計画立案のための実行委員会を設置し、実施内容の検討を行った。
- ・開催日 2月14日(火)
- ・委員数 11名

<研修会>

- ・開催日 8月23日(火) 15:00～17:00
- ・内 容 講義「主体的に働ける人材になろう！
ーセルフマネジメント・タイムマネジメントのコツを教えますー
- ・講 師 社労士オフィスろーど 代表 大道和哉 氏
- ・対象者 市内の福祉施設等に勤務する職員 11名

<企画委員会（サードプレイス）>

- ・開催日 6月7日、7月5日、8月9日、10月11日、
11月8日、3月14日（いずれも火曜日）
- ・会 場 フィランセ東館3階ボランティアルーム
- ・内 容 プレ事業に向けての計画と実践
- ・アドバイザー 社労士オフィスろーど 代表 大道和哉 氏
- ・対象者 市内の福祉施設等に勤務する職員 12名

<つなプロ事業>

- ・開催日 9月13日(火)
- ・会 場 フィランセ東館3階ボランティアルーム
- ・内 容 「とりあえず 全員集合！ コロナに負けるな 繋がりをくれ」
働き始めて3～5年の市内の福祉関係従事者を対象に、企画委員会（サードプレイス）が第三の居場所として皆で気軽に集まれる、言い合える場を用意し、仕事に対する活力醸成のためのグループワークを行った。
- ・参加者 市内の福祉施設等に勤務する職員 6名

②夏休み福祉なんでも学習

夏休みの自由研究の課題や福祉全般についての学習のヒントとなる体験型学習会を計画したが新型コロナウイルス感染拡大を受け中止した。

③福祉教育（体験、福祉講話）の実施

福祉教育を積極的に推進するため、学校単位・クラス単位等必要に応じ体験学習や福祉に関する講話・相談等を行った。

・ 10校 市内小中学校および高等学校にて

④福祉体験機材の貸出

福祉の心を育むための体験用として疑似体験機材を貸し出した。

	車いす	アイマスク ・白杖	アイマスク	高齢者 疑似	点字盤	自助具 (スプーン・箸等)	ホッパ・ ユニホッパ	サッカーボール	触感体験 など その他
個数	92	301	90	136	100	101	61	1	50
回数	20	17	2	14	6	6	38	1	26

内訳	学 校	32
	地 区	18
	施 設	12
	その他	31

⑤福祉図書コーナーの運営

フィランセ東館3階市民交流フロアに福祉図書コーナーを置き、図書等の貸出を行った。

・ 図書等の貸出

福祉図書 34冊 ビデオ・DVD 11件
CD 13件

・ 貸出利用券新規発行者数 7人

【福祉相談事業】

(1) 結婚相談

結婚相談員による結婚に関する相談及び交際の仲立ち（引き合わせ）を行った。

- ・開所日 毎週水曜日、毎月第1・第3土曜日、第2・第4日曜日
- ・相談状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
開催日数	8	7	9	7	8	8	8	8	8	6	7	9	93	82
相談件数	182	140	200	193	168	166	195	206	163	110	144	146	2,013	2,512

- ・新規登録者数 60人（前年 74人）
- ・引き合わせ組数 98組（前年112組）
- ・引き合わせ成立組数 52組（前年 64組）
- ・結婚成立件数 3組（前年 8組）

(2) 心配ごと相談

フィランセ東館1階事務局内にて相談員1名を配置。月曜日から金曜日まで、福祉・生活に関わる初期相談に応じ、直接来所できない方のためには電話相談（64-3294）を行った。さらに専門的な相談に対しては関係機関と連携を密にしながら対応した。

<相談状況>

相談件数 460件
 <内訳> 来所相談 45件 電話相談 414件
 その他 1件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
相談件数	45	43	51	39	45	41	35	37	42	29	39	14	460	619

相談内容	件数	前年
福祉制度等の利用相談	0	0
福祉サービス等の利用相談	0	0
自立生活についての相談	57	26
家庭生活についての相談	82	112
教育に関する相談	1	1
就労に関する相談	27	7
医療・健康に関する相談	9	15
虐待に関する相談	8	7
その他	288	472
合計	472	640

※重複回答あり

【援護事業】

(1) 罹災世帯援護事業

火災に遭われた罹災世帯に対し見舞い金を支給した。

・全焼	7件	210,000円
・半焼	0件	0円

(2) 緊急一時援護事業

低所得世帯等で、緊急に援助を要する世帯に対し、世帯の自立更生に繋がるよう5万円を限度に援護を行った。

・生活援護	1件	41,000円
-------	----	---------

(3) 児童援護事業

・低所得世帯小中学校入学支度費支給	1,303,000円
・低所得世帯小中学校修学旅行支度費支給	2,426,000円
・児童遊び場設置費助成	991,000円

<児童福祉団体への助成>

・子ども会世話人連絡協議会助成	300,000円
-----------------	----------

(4) 障害者援護事業

①福祉機器等リサイクル事業

高齢者などの在宅生活の支援、社会参加の促進、家庭介護の軽減を図ることを目的に、不用となった福祉機器やベビー用品を無償で提供していただける方と譲り受けた方とのリサイクル情報の橋渡しを行った。

- ・対 象 不用になった福祉機器やベビー用品を譲りたい方
不用になった福祉機器やベビー用品を必要とする方

- ・費 用 無料（運搬・修理に関する費用は譲り受ける方が負担）

- ・物 品 福祉機器・介護用品・ベビー用品
(直接身体に触れる物品は未使用のもの)

- ・実 績 譲ります情報 64件 求めます情報 69件 成立 52件

②車いす短期貸出事業

病気やケガ及び旅行等、短期間(2週間)車いすを必要とする方へ貸出を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
貸出件数	31	24	27	21	22	19	21	26	28	29	23	31	302	258

③障がい者福祉団体への助成

・手をつなぐ育成会運営助成	300,000円
・身体障害者福祉会運営助成	200,000円
・視覚障害者福祉会運営助成	50,000円
・聴覚障害者協会運営助成	70,000円
・福祉団体スポーツレクリエーション大会助成	30,000円

(5) 高齢者援護事業

①家族介護者交流事業

在宅において、寝たきり高齢者や認知症高齢者を介護している方々の親睦を図るとともに、日頃の介護の疲れを癒すことを目的に開催した。

<介護おしゃべりカフェ>

第1回	9月24日(土)	
	「やさしい音色でリフレッシュタイム♪」	参加者17名
第2回	11月19日(土)	
	「笑う門には福来る! いっぱいの笑顔で」	参加者16名
第3回	3月11日(土)	
	「人生会議って知っていますか!？」	参加者19名

②高齢者福祉団体への助成

・悠容クラブ連合会助成	200,000円
・認知症の人と家族の会助成	100,000円
・在宅介護者家族の会助成	50,000円

(6) ひとり親等援護事業

①ひとり親世帯等生活困窮者自立支援給付事業

生活困窮者自立相談支援事業において、ひとり親世帯等に対して就労支援を行うのに伴い、就労支援の実効性を高めることや生活を維持することを目的に、就労活動に必要な資金及び子どもの養育に必要な資金等の給付を行った。

・給付	13件	224,190円
-----	-----	----------

(7) 交通遺児等援護事業

・交通遺児等入学祝金	20,000円
・交通遺児等見舞金	30,000円
・交通遺児等育英奨学金	156,000円
・交通遺児等育英奨学生進級祝	5,000円

【共同募金運動】

(1) 赤い羽根共同募金運動

この運動は、毎年多くのボランティアの方々に支えられ、令和4年度は次のとおり募金をいただいた。これらの募金は、民間社会福祉事業の充実向上、健康で安心して暮らせる福祉のまちづくりのための事業に活用されている。

・実施期間 10月1日 ～ 12月31日

・協力団体 町内会（区長会）、民生委員児童委員協議会、他諸団体

区 分	目 標 額	実 績 額
町内募金	14,850,000円	14,997,713円
篤志・法人募金	4,824,000円	3,886,057円
街頭募金他	1,500,000円	1,557,159円
合 計	21,174,000円	20,440,929円

(前年同期 19,832,980円)

(2) 歳末たすけあい運動

赤い羽根共同募金運動の一環として「つながりささえあうみんなの地域づくり」をスローガンに、主に低所得世帯等が安心して新年を迎えることができるよう支援金の配分を行った。

<配分結果>

・低所得世帯（生活保護世帯は除く）

526世帯 1,371人 8,191,000円

ねたきり 11人 認知症 2人

重症心身障がい児(者) 42人 両親のいない児童 8人

・福祉施設利用者

施設 6カ所 里親 6世帯 計 70人 440,000円

合 計 8,631,000円

<募金結果>

・会社職域関係 473,246円

・団体関係 237,901円

・学校関係 14,576円

・個人 37,235円

・たすけあい袋 7,850,771円

合 計 8,613,729円

【ユニバーサル就労支援センター相談支援グループ運営事業】

生活課題を抱えた市民からの相談に早期かつ包括的に応ずるユニバーサル就労支援センター相談支援グループを(株)東海道シグマと共同事業体を組織し運営を行った。8名の相談員を配置し相談者の抱えている課題を適切に評価・分析し、その結果を踏まえた「自立支援計画」を相談者本人と共に作成して、相談者の生活の立て直しに向けた支援をした。また生活福祉資金貸付担当者と連携しながら相談を受け、必要な場合は適切に関係機関へのつなぐとともに、事業の周知に関してはチラシを配布し市民への情報提供を実施。今年度は新たに「ひきこもり相談」を開始し、居場所となる「こもれびラウンジ」を設置した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規相談件数	112	107	102	103	118	107	105	71	75	106	91	106	1,203
プラン作成件数	22	34	21	20	32	39	13	31	16	30	20	16	294
就労支援対象者数	8	20	12	11	19	27	7	19	9	14	12	7	165

【貸付事業】

(1) 高額療養費等資金貸付事業

国保加入者で医療費の支払に困っている方に、高額療養費等資金の貸付を行った。

・貸付 141件 8,173,946円

<内訳>

1. 高額療養費 46件 6,142,429円

2. 重度医療費 69件 1,748,890円

3. ひとり親家庭等医療費 26件 282,627円

(2) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯等の生活意欲を助長し、その自立更生を図ることを目的に県社協の審査を経て生活福祉資金等の貸付を行った。

・教育支援資金 4件 1,061,000円

・福祉資金(福祉費) 4件 418,309円

・福祉資金(緊急小口資金) 9件 870,000円

合 計 17件 2,349,309円

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、休業や失業により減収した方を対象に生活費の貸付を特例的に行った。

・緊急小口資金特例貸付 119件 22,600,000円

・総合支援資金特例貸付 41件 16,870,000円

合 計 160件 39,470,000円

(3) 小口資金貸付事業

低所得世帯を対象に、一時的に必要な生活資金を5万円を限度に無利子にて貸付け、世帯の自立支援を行った。

・貸付 10件 360,000円

行政と連携し、新たに決定した生活保護世帯に対し生活保護費初回支給日までの生活費等の資金を5万円を限度に無利子にて貸付、切れ目のない支援を行った。

・貸付 66件 2,198,000円

【日常生活自立支援事業】

住み慣れた地域で安心して暮らせるように、福祉サービス利用の援助や日常生活に必要なお金の出し入れ、福祉サービスの利用料・公共料金などの支払いを支援した。専門員5名 生活支援員21名で対応。

・利用対象 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で、自身の判断能力に不安のある方

・援助内容 福祉サービスに関する情報提供、利用手続きの代行
日常的な金銭管理の支援、重要書類等の預かり

区 分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
現利用者数	14	27	21	10	72
今年度契約者数	3	1	5	6	15
相談援助件数	191	449	354	275	1,269

【成年後見支援センター事業】

(1) 成年後見推進事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人が成年後見制度を的確に利用できるよう支援を行い、これらの人の権利を尊重し擁護することにより地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度の利用促進を図ることを目的として相談援助を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
相談件数	21	25	23	29	29	35	23	21	20	22	37	23	308	286

<成年後見制度講演会・個別相談会>

- ・日 時 11月19日（土）9：30～11：00
- ・会 場 市役所消防庁舎7階
- ・内 容 「ぼけますから、よろしくお願いします」ビデオ上映
杉司法書士による成年後見制度についての講話
参加者 70名
- ・個別相談会 事前予約で受付した7組の相談
司法書士2名、社会福祉士5名で対応

（2）市民後見推進事業

<市民後見人の研鑽>

市民後見人候補者21名が日常生活自立支援事業生活支援員として活動を行いながら、身上保護及び財産管理の実際を通じて利用者支援に協力いただいた。

センターはその援助を行い候補者のサポートを行った。

<市民後見人名簿登録者継続研修>

市民後見人候補者へのフォローアップと資質の向上のための継続研修を開催。

- 6月27日 市民後見人活動報告と事例検討会 19名参加
- 11月14日 被後見人等の意思決定支援について 16名参加
- 7月～11月 市民後見人養成研修の希望日参加
7日間18名が参加

<市民後見人受任調整会議>

名簿登録者の中から法人後見業務を担った2名の受任調整を実施し2名が市民後見人個人受任となった。

実施日 6月14日、8月23日

<市民後見人>

今年度新たに2名の市民後見人が選任され3月末で14名の市民後見人が活動している。

<監督人>

今年度新たに上記2名の後見監督人として社協が選任され、合計14名の監督人となった。

【法人後見事業】

＜受任調整会議の開催＞

成年後見制度利用の申立をする方で、親族以外の専門職後見人等を希望される方を対象に受任調整会議を開催し、その方にふさわしい後見人が選任されるよう弁護士・司法書士・社会福祉士による推薦会議を実施した。その検討結果を家庭裁判所富士支部に推薦した。

10回開催 専門職28名を推薦した。

内訳 弁護士 5件、司法書士 9件
社会福祉士 8件、法人 6件

＜法人後見受任＞

家庭裁判所・行政と協議を行い、市民後見個人受任を見据えた2人を新たに法人後見として受任した。3月末時点で14件を受任している。

【介護サービス事業】

（1）介護保険関連事業

①居宅介護支援事業

・利用者延べ人数 3,484人

（事業対象者…241人 要支援…1,073人 要介護…2,170人）

・利用者内訳 事業対象者…241人(6.9%) 要支援1…338人(9.7%)
要支援2…735人(21.1%) 要介護1…910人(26.1%)
要介護2…586人(16.8%) 要介護3…343人(9.9%)
要介護4…247人(7.1%) 要介護5…84人(2.4%)

・介護認定調査 67件（富士市…35件、県内他市町…17件、県外…15件）

②訪問介護事業

・利用者訪問延べ回数 3,324回

（事業対象者…148回 要支援…763回 要介護…2,413回）

・利用者内訳 事業対象者…148回(4.5%) 要支援1…322回(9.7%)
要支援2…441回(13.3%) 要介護1…492回(14.8%)
要介護2…324回(9.7%) 要介護3…1,062回(31.9%)
要介護4…486回(14.6%) 要介護5…49回(1.5%)

③通所介護事業（富士川デイサービスセンター）

・開所日数 307 日

・利用延べ人数 9,365 人

（事業対象者…542 人 要支援…349 人 要介護…8,474 人）

・利用者内訳 事業対象者…542 人（5.8%） 要支援1… 48 人（0.5%）

要支援2… 301 人（3.2%） 要介護1…3,312 人（35.4%）

要介護2…2,159 人（23.1%） 要介護3…1,249 人（13.3%）

要介護4…1,417 人（15.1%） 要介護5… 337 人（3.6%）

（2）障害福祉サービス事業

①居宅介護

・利用者数 27 人

・延派遣回数 2,969 回 ・延派遣時間数 3,249 時間 05 分

②同行援護

・利用者数 12 人

・延派遣回数 471 回 ・延派遣時間数 880 時間 18 分

③移動支援

・利用者数 6 人

・延派遣回数 347 回 ・延派遣時間数 473 時間 55 分

（3）介護入門研修事業

介護に関心を持つ介護未経験者に対し、介護の基本的知識や技術の習得を通じ、家庭や地域で介護の担い手として活躍できる人材の育成を行った。

参加者 22 名 終了者 15 名

（4）高齢者地域支援窓口事業（富士駅北地区）

高齢者の身近な相談窓口として、富士駅北地区の高齢者地域支援窓口を受託。来所者向けの相談窓口の設置、移動相談、家庭訪問、出前講座等を実施した。

・見守り件数 7 件 終了者 2 件

（入院1件、介護保険へ移行2件）

・相談件数 43 件

・移動相談 21 回 来所者 174 人

・出前講座 7 回

(2) 寄附金

社会福祉協議会への寄附者は、下記のとおりです。

① 一般寄附

(敬称略・単位 円)

月	氏 名	金 額	月	氏 名	金 額
4	宗清倶楽部杯チャリティー ゴルフ	17,200	9	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	橋野眞澄	18,281		匿名	15,000
	匿名	15,000	10	匿名	20,000
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		ADEKA労働組合	20,000
	望月雅文	35,000		匿名	5,000
5	ADEKA労働組合	20,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000	11	匿名	54,047
6	匿名	20,000		匿名	43,298
	武蔵昌人	8,350		匿名	1,000
	静岡県東部イベント商業協 同組合	30,000		匿名	20,000
	匿名	3,000		偕楽寮会	10,000
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		株式会社ライフプラザ アドバンス	30,000
7	匿名	20,000	12	株式会社杏林堂薬局	140,000
	公益財団法人富士市振興公 社 富士市交流プラザ	2,800		匿名	2,000
	匿名	15,130		J Aふじ伊豆富士葬祭 センター	175,100
	一般社団法人福祉イベント 会	20,000		富士マンドリンクラブ	37,000
	静岡県東部イベント商業協 同組合	30,000		興亜工業株式会社 代表取締役 井上 淳	100,000
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		匿名	30,000
	匿名	15,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
8	井本剛司	5,000	12	匿名	20,000
	匿名	20,000		妙祥寺 住職 遠藤文祥	10,000
	杉山勝	200,000		NPO法人楽しいことやら座	30,000
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		匿名	30,000
9	匿名	20,000		諏訪部弘	21,000

③交通遺児援護基金指定寄附

(敬称略・単位 円)

月	氏 名	金 額	月	氏 名	金 額
4	大石恵美	5,000	1	大石恵美	20,000
5	大石恵美	20,000			
6	富士地区貨物運送事業協同組合 理事長 吉野正則	300,000		6 件	
	一般社団法人静岡県トラック協会富士支部 富士運輸会	110,000			
9	大石恵美	20,000		475,000 円	

④くらし・子ども支援基金指定寄附

(敬称略・単位 円)

月	氏 名	金 額	1 件	
1	学校法人旭学園 富士調理技術専門学校	17,209	17,209 円	